



昭和の森 バンガロー



四王寺県民の森 子どもの国広場

## 8 宇美町の自然と環境

### (1) 宇美町の森林

「昭和の森」は福岡県森林浴100選にも選ばれました。

「昭和の森」の奥にある河原谷では、冬になると大つららができ、多くの人がその美しい景観を見に訪れます。

「四王寺県民の森」は、昭和51年にオープンしました。遊具や周辺の散策コースが整備されています。散策コースは、大野城の土塁や礎石群などの史跡を楽しむことができます。

わたしたちの住む宇美町には、上の写真のようなすばらしい森林がたくさんあります。宇美町では、「原生ツツジ」や「シャクナゲ」がとても大切にされており、観光に訪れる登山者もたくさんいます。

また、「昭和の森」や「四王寺県民の森」には、キャンプ場やアスレチックなどがあり、町の人だけでなく多くの人たちが憩いの場として親しんでいます。



井野山



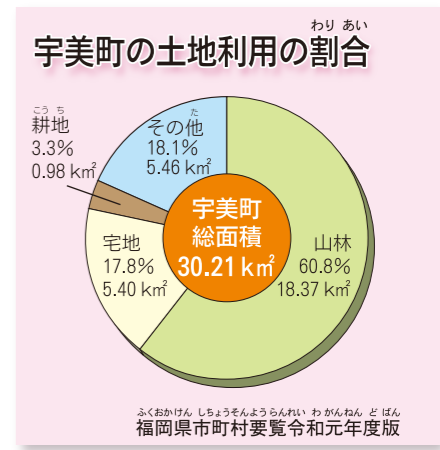
乙金山



大城山

すばらしい山々に囲まれた宇美町ですが、今わたしたちの町の森林は、どのようになっているのでしょうか。

下のグラフから、宇美町の森林面積は、少しずつ減少していることが読み取れます。総面積に占める森林の割合を調べてみると、日本全国の平均は約67%、わたしたちの宇美町は約61%であることが分かりました。

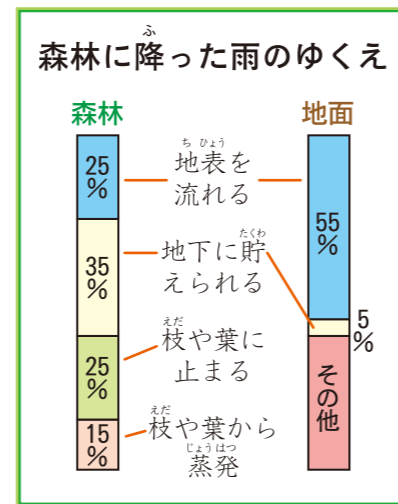


(2) 森林の働き

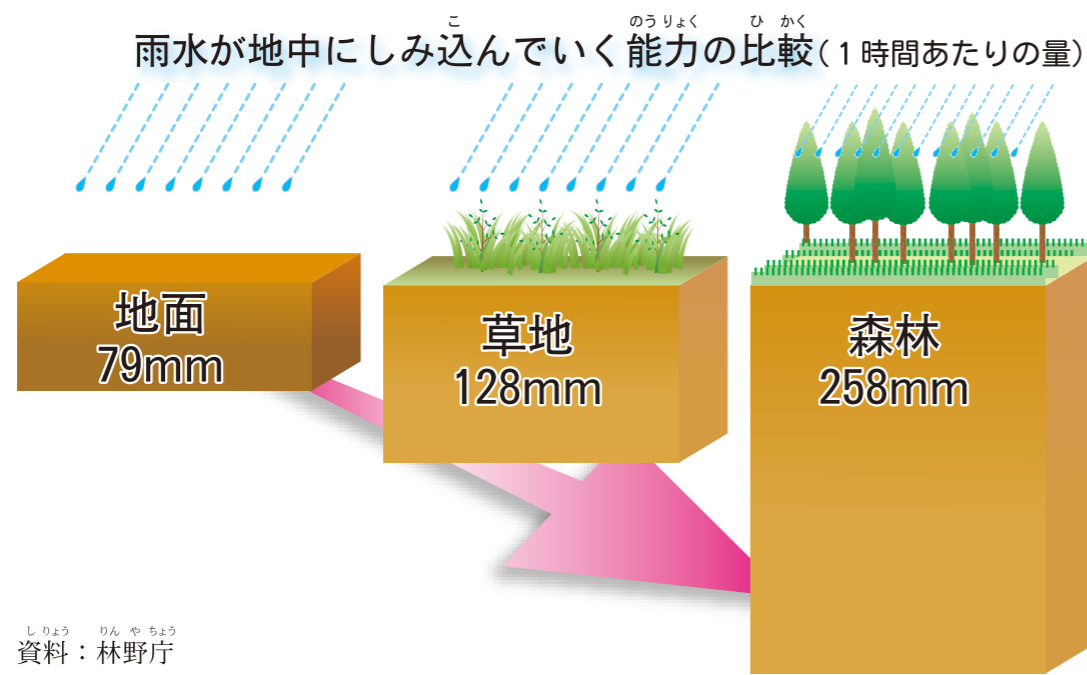
森林の役割の一つに、水を貯える働きがあります。木のない山では、降った雨が地中に貯えられず、山の表面を流れ落ちてしまうのです。森林は、地中に水を貯え、それを少しずつ供給してくれる働きをもっています。

森林は、水の源となるだけではなく、生き物のすみかになったり、空気をきれいにしたり、災害を防いだり、わたしたちの心に安らぎやうるおいを与えてくれるなどの大切な働きをしています。

また、大昔から木のよさを生かしながらくらしてきた人々のようすを知ることは、現代のわたしたちの暮らしにも役に立つことでしょう。



資料：自然保護の手引



資料：林野庁





### (3) 森林と災害

2003年（平成15年）7月18日深夜から19日未明にかけて降り続いた集中豪雨が宇美町をおそいました。この豪雨により、上の写真のとおり三郡山の山肌には、ツメでひっかいたようなむぎんな傷跡が残されました。大量に降った雨が、山々の木々や土砂を一度に押し流してしまっただけです。このとき、宇美町では1時間に100ミリ近い降雨があり、床上・床下浸水の被害にあった家は

2000戸をこえ、復旧のための作業は大変なものでした。また、昭和の森の公園も流れ出た大きな岩や土砂で埋まってしまいました。被害を大きくした原因の一つに、森林を大量に伐採したことがあげられると言われています。また、常に手入れをしていないと災害を起こしやすい山になってしまいます。このように、災害を防ぐ上でも森林には大きな役割があります。

1973年（昭和48年）にも、大水害がありました。このときの集中豪雨でも、山間地で発生した土石流により、町内各地に多量の土砂・流木が押し寄せ、家屋をはじめ、水田、水道施設、橋などに大きな被害が出ました。

2つの大水害の様子については、当時の「広報うみ」を見ると詳しくわかります。



### (4) 森林を守るために

#### ① 宇美町の取り組み

これから先の宇美町の森林がどうあればいいのかについて、宇美町役場の方にお話を聞きました。

#### 環境農林課の方のお話

宇美町では保安林となっているスギ・ヒノキなどの森林を守るため、山の持ち主に木の成長が悪くなったり、木が枯れないように手入れをお願いしています。



また、宇美町が持っている森林は計画的に専門の業者に手入れをしてもらっています。これからは、みなさんが安心して暮らせるように森林の機能を保つための整備を進めていきたいと思っています。

保安林とは、豊かな水源の確保や土砂崩れなどの災害の防止、豊かな自然環境の保全などの目的で、無断で木を切ったり土地を削ったりできないよう国のきまりで守られている森林のことです。宇美町では、山の所有者と話し合いながら、よりよい森林づくりに努力と工夫を続けています。



宇美町のスギ林  
保安林の種類は、全部で17種類あります。



#### 流木などを防ぐダム

平成15年の災害の後、26基のダムが造られました。今後は、原田方面の治山事業を主として行われるそうです。



四王寺県民の森センター

間伐とは、成長にともな  
って混みすぎた森の一部を  
抜き切りすることです。



## ② 森林を管理する仕事

森林は、わたしたちの生活に欠かせない大切な宝物です。しかし、正しく手入れをしないと、山が荒れ、森林のもつ大切な働きも機能しなくなってしまいます。

### 四王寺県民の森センターの方のお話

四王寺県民の森付近の森林には、歴史的にみて、貴重な史跡もあります。これらを含め、この付近の森林を守るために、今後も森林の維持・管理に力を入れていきます。

具体的には、間伐などの手入れをきちんとすることによって、地面にしっかり根付く強い森林を育てることを目指していきます。

### 森林を管理するさまざまな仕事



植林



下草刈り



間伐



枝打ち

## ③ わたしたちにできる取り組み

このように、貴重な宇美町の森林は、みんなの手で守っていくことが大切であると分かりました。

宇美町スポーツ協会の「山の会」の方々が、登山道の清掃などさまざまな活動を行っています。

また、「緑の少年団」の子どもたちが、森林パトロールをしたり、「緑の募金」を呼びかけたりして、町の美しい山の自然を守り育てるために活動しています。

### 四王寺県民の森センターの方のお話

森林にかかわる仕事をしているわたしから、みなさんにお願いがあります。それは、山を汚さないでほしいということです。そして、山には、それぞれ所有者がいることも忘れないでほしいです。休日などに山の自然に触れてみてください。みなさんの暮らしを守り、美しい環境をつくる森林に愛着がわいてくると思います。



美しい森林を守るための呼びかけの看板



「緑の募金」の活動の様子

集まった募金は、森づくりや環境教育などに活かされます。

森林を守るために、わたしたち一人ひとりができることは何か、みんなで話し合ってみましょう。

